

5月19日

安全第一を心掛けて 交通安全教室を開催

美留和小学校（齊藤靖恵校長）が、弟子屈警察署（鈴木将人署長）の指導のもと、全校生徒を対象に交通安全教室を5月19日、校舎前で行いました。



上級生としてみんなに
お手本を

これから生徒たちが、外での活動や自転車に乗る機会が多くなることから、この日は横断歩道の渡り方や自転車の安全な走行方法について、校舎前に設置した模擬横断歩道を使用して確認しました。

また、バトカーの運転席に座り、実際に車の死角を体験した生徒たちは、運転手に気づいてもらうために、手を挙げて横断歩道を渡ること、車の近くで遊ばないことの大切さを学びました。



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

5月21日～23日

大きく育てて帰っておいで 町営牧場へ若牛が入牧

5月21日～23日の3日間の日程で、町内酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。家畜車で各農家から運ばれてきた牛たちは牧場へ到着すると、体重測定や個体写真の撮影、消毒などを受けた後、広々とした牧場へ放牧されました。



牧場に到着した牛たち

今年は1,305頭の牛が入牧。これから10月末まで、栄養豊かな牧草を食べ、起伏ある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。

5月24日

たくさんの支えに感謝 (有)渡辺体験牧場30周年感謝祭

(有)渡辺体験牧場（渡辺隆幸代表取締役）は5月24日、創業30周年を記念して感謝祭を開催しました。会場は町内外からの来場者で賑わい、キッチンカーや施設内販売のグルメに舌鼓を打つ姿が見られました。



周遊体験のトラクター

このほか、ちちしほり体験やトラクター周遊体験、地元アーティストによるライブ、子どもたちのダンスパフォーマンスなどが行われました。「牛のおっぱいミニソフト」無料食べ放題には長蛇の列ができ、皆さん笑顔を咲かせていました。

渡辺社長は「また40周年に向けスタッフ一同頑張るのので、よろしくお願いします。」と話していました。

5月23日

町内学校教育の充実と発展を目指し 町教育研究所教育研究大会を開催



部会協議の様子

町教育研究所（工藤博之所長）は5月23日、令和7年度第1回教育研究大会を弟子屈小学校（佐藤義行校長）で開催しました。同教育研究所は、町立学校の実態把握や指導方法の実践的研究、各校への情報提供を行い、町学校教育の振興と発展への寄与を目的に活動しています。

町立学校の教職員約70人が集まった全体集会では、活動方針・事業計画などを報告。集会後には9つの部会が行われ、それぞれの研究テーマや年間計画を協議、その結果を部長会議で共有しました。今年は町民向けの情報発信も検討されるなど今後の活動が注目されます。

横綱の生涯を描いた作品が並び

大鵬生誕85周年記念展覧会を 開催中

本町出身でウクライナ人の父を持つ第48代横綱・大鵬の生誕85周年記念展覧会が大鵬相撲記念館で、5月15日から開催しています。それを記念してレセプションパーティが、大鵬の誕生日前日である28日に同記念館で行われ、展覧会の主催者であるウクライナ出身の芸術家ゾヤ・スコロパデンコさんをはじめ、前駐日ウクライナ大使のセルギー・コルシンスキーさん、大鵬の三女である納谷美絵子さんと地元関係者14人が出席し、親睦を深めました。

スコロパデンコさんは、以前仕事で在日ウクライナ大使館（東京都港区）を訪れた際に、同大使館から贈られた大鵬のポर्टレイトを目にしたことがきっかけで相撲に興味を持ち、大鵬にちなんだ数々の作品を手掛けてきました。大鵬生誕80周年記念時に展覧会の開催を企画するも、コロナ禍により断念していたため、「温めていた企画が実現できて嬉しい。大鵬と相撲について理解を深めるきっかけになれば。」と話しました。

スコロパデンコさんの作品が並ぶ展覧会「横綱の生涯」は、11月1日(土)まで開催しています。



レセプションパーティの様子



展覧会主催者のスコロパデンコさん



出席者全員で記念撮影

町の話



CloseUp Topics

海外での貴重な体験を発表

ふるさと人材育成事業成果報告会



孤児院の子どもの交流



研修参加者との集合写真

徳永哲雄町長は、「二人のように意欲のある人がどんどん育って欲しいが」と二人の熱意に感銘を受けていました。

海外での貴重な体験を発表する機会を捉え、海外研修に参加した板垣さん（左）と川崎さん（右）は、海外研修を通じて、海外の文化や教育について学び、自身の成長を高めた。と自身の成長を報告しました。



短期海外研修に参加した板垣さん（左）と川崎さん（右）

ふるさと人材育成事業成果報告会が6月17日、弟子屈高校（伊東文人校長）体育館で開催されました。同事業は、昨今の国際化、情報化に対応した広い視野を持つ人材育成のため、国内外での研修や留学、技術習得などの助成を行うものです。今回は、短期海外研修プログラムに参加した、同校2年生の板垣亜央さんと川崎夏輝さんが成果報告を行いました。

ネパールで過ごした12日間、子どもたちの貧困問題と向き合い、異文化や孤児院に対する理解を深めた板垣さんは、「孤児院への『かわいそう』というイメージを払拭できるような世界になりたい。」

と語り、「もつとたくさんの人にこの海外研修を経験してほしい。」と生徒たちと呼びかけました。

また、フィンランドで7日間を過ごした川崎さんは、世界幸福度ランキング1位であるフィンランド人の積極性、自己肯定感の高さを体感し、「文化の違いに気づき、ポジティブに生きることの大切さを学んだ。」と話し、また「毎夜その日の経験などについての発表を行ったことで、自己表現力が高まった。」と自身の成長を報告しました。